

ひらゆの森

Hirayu no Mori
(岐阜県高山市)



外観

関東から見ると安房峠の向こう側に奥飛騨温泉郷がある。奥飛騨温泉郷は、平湯温泉、新平湯温泉、福地温泉、枳尾温泉、新穂高温泉の 5 つの温泉を総称して言う。露天風呂の総数はなんと 170。日本有数の露天風呂の集積地である。

今回紹介するのは平湯温泉にある宿泊・日帰り入浴施設であるひらゆの森だ。安房トンネルを出て最初の信号で右折し、坂を下ってすぐのところにある温泉である。

入口には足湯もあるが、まずは温泉へ。建物の中に入ると大きな売店がある。フロントでお金を払い、さらに建物奥の温泉へ。かなり歩かされるがそれだけこの施設が大きいということである。

脱衣室にはロッカー、棚、箆などがあるが、ロッカーは投入する 100 円が返金されないので注意が必要。洗面台やドライヤーは複数完備している。

脱衣室から浴室への途中には前室のようなものがある。中部地方の銭湯によくあるもので、洗面台が設置されているので、浴室から出る際にタオルを絞って体をふくことができるスペースだ。前室には急激な温度変化を回避する機能もあるに違いない。

浴室に入ると右手に内風呂と洗い場があり、入口付近に水風呂がある。奥手にサウナと露天風呂の入口が見える。

洗い場は 30 か所もあり、キャパシティーの大きさに驚かされる。内湯の浴槽の湯温はぬるめで、私は露天風呂よりもこれが気に入った。湯は少し白濁している。水風呂は恐ろしく冷たい。

露天風呂は圧巻である。大小 7 個もの浴槽が並んでいる。女湯は 9 個もあるというから

さらにすごい。7個ある浴槽のうち1個は丸型、1個は四角い木製の湯船である。それ以外はすべて岩風呂。7個も浴槽があるが、それぞれ微妙に湯温と湯の外観が異なっている。ぬるいものから熱いもの、無色透明に近いものから真っ白なもの、湯の花が大量に浮遊しているものなど様々である。きっと自分の好みの湯船が見つかるに違いない。内湯と露天風呂の合計キャパシティは100人以上だ。

サウナは室内温度86℃、定員8人程度である。ただ、サウナを楽しんでいる人は皆無であった。これほど多彩な露天風呂があれば、サウナを楽しんでいる暇などないというわけである。

ちなみに、ひらゆの森の湯は含硫黄-ナトリウム・カルシウム・マグネシウム・炭酸水素塩・塩化物泉（硫化水素型・中性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病などに効くという。

湯上りは併設されているレストランでざるそばを食することをお勧めしたい。温泉とレストランは長い回廊で結ばれており、雨風雪を避けて移動ができる。レストランには蕎麦の他、飛騨名物のトラフグというものもある。この施設の中にトラフグの養殖水槽があり、新鮮な生きたトラフグを料理してくれるらしい。

ひらゆの森のような宿泊、温泉施設があると、昔からある温泉宿はどうになってしまうのかと心配になるほどである。ひらゆの森はそれだけ完璧な温泉だと言える。

- 名称：ひらゆの森
- 所在地：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 763-1
- 電話：0578-89-3338
- 営業時間：10：00～21：00（最終受付 20：30）
- 定休日：無休
- 入浴料：大人 500 円、3 歳～小学生 400 円、3 歳未満無料
- サウナ：あり
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材日：2014 年 9 月 20 日（土）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部